

---

**のない世界で**

るうね

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

のない世界で

### 【著者名】

N4856G

### 【作者名】

ねひむ

### 【あらすじ】

世界から・・といつ言葉がなくなつて、十数年……。

世界から、 という言葉がなくなつて、十数年が経つ。

激しいセックスの余韻に浸りながら、煙草をくゆらせる。美味くはない。それでも、セックスの後には、必ず煙草を吸う。その味がセックスの後に感じる虚無感に相応しいと感じるから、というのは詩的に過ぎるだろうか。

俺の隣で、由紀は穏やかな寝息をたてている。小柄な体躯。その肉体で、俺の野獸のような性衝動を受け止めてくれる。小学生の時からの幼馴染。

俺は彼女が だ。

いらついて、煙草の火を消す。

小学生の時は簡単に言えた言葉。十数年前に、突然、この世から消滅した。だけではなく、それに類する言葉全て、言えなくなり書けなくなつた。残つたのは、その概念だけ。

なぜかは分からぬ。さまざまな学者がいろんな論を展開した。人類という種の進化の一形態である、とか、驕おごつた人類に対する神罰である、とか。もともと言葉というものは定量であり、その数が尽きたのだ、という奇説まで飛び出した。だが、その解決策、となると誰も示すことはできなかつた。結局、人類は という言葉を失い、概念のみを抱えて生きるしかなかつた。

眠つたままの由紀の中に、ゆっくりと挿入する。一、二度動かすと、彼女は目を覚ました。すぐに甘い嬌声を上げ始める。俺は何度も由紀を突いた。心の奥まで貫けどばかりに。同時に果てる。

俺は彼女が だ。

不意に泣きたくなつた。

いくら激しいセックスをしても、いくら高価な贈り物をしても。  
そこには、どうしても不純物が混じる。性欲、金銭。あの言葉さえ  
言えたなら。

「由紀」

「なに?」

俺は彼女を抱きしめる。

「結婚しよう」

そう言つた。

「もしかすると単なる独占欲なのかもしない。結婚という契約で、  
お前を縛りたいだけなのかもしない。でも、俺はお前が「  
その先に続く言葉がない。こんなに彼女が なのに。  
と、そつと、彼女の唇で口をふさがれた。

「大丈夫」

唇が離れると、彼女は柔らかく微笑んだ。

「分かつてゐから」

と、俺の胸元に顔を埋める。

「お嫁さんに、してください」

由紀は、そう言つた。

俺は彼女を抱く手に力を込める。

「ありがとう」

たとえ伝えることができなくとも。この気持ちは、ちゃんと心の  
中にある。そして、それがあることを彼女は信じてくれる。

俺は彼女が だ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4856g/>

---

のない世界で

2010年10月21日20時58分発行